

環境への 取り組み

市では、市内の環境を良好な状態に保つため、各種の環境関連施策を進めています。また、市内の環境汚染の状況を把握するため、定期的に数値を測定し、その結果を公表しています。今後も良好な市内環境を維持するため、各種の取り組みを行ってまいります。



◆地球環境のために

温室効果ガスの削減や大気汚染防止のための自動車対策、廃棄物削減に向けた啓発やリサイクルなどの循環型社会の構築、豊かな緑地の保全に向けた緑化推進など

◆地域環境のために

生活・事業排水などの対策、建築工事などの騒音・振動などの軽減対策、大気汚染や悪臭防止対策など

平成23年度環境調査結果

ダイオキシン類、水質、窒素酸化物の3項目を測定し、**すべての種類で環境基準(※)を下回る結果**となりました。

(※)環境基準…「維持されることが望ましい」基準として定められた行政上の政策目標。環境基本法により規定されるもの。

【ダイオキシン類】

市内6カ所で測定した数値は、最大0.038pg-TEQ/m³、最小0.021pg-TEQ/m³でした。(環境基準…0.6pg

1-TEQ/m³以下。工業的に製造する物質ではなく、ものの焼却の過程などで自然に生成してしまう物質)

※pg-TEQ/m³…大気1m³当たりのダイオキシン濃度を表す単位。pgは1兆分の1グラム。

【水質】市内を流れる主要3河川(永池川、貫抜川、目久尻川)で測定した数値は、最大1.5mg/l、最小1.3mg/lでした。

(環境基準…2mg/l以下。BOD(生物化学的酸素要求量)について調査)

【窒素酸化物】

市内21カ所で簡易測定法(P T I O法)により測定した数値は、最大35ppb、最小20ppbでした。

(環境基準…60ppb以下。酸性雨や紫外線により光化学反応を起し、光化学オキシダントを生成する大気汚染原因物質のひとつ)※ppb…大気中に含まれる汚染物質の濃度を表す単位。10億分の1。

光化学スモッグに ご注意ください!

気温が高く、風が弱い日は、光化学スモッグが発生しやすくなります。光化学スモッグ注意報・警報が発令されたら、「防災行政無線放送」および「えびな安全安心メール」でお知らせします。予報など、メール配信の詳細は市ホームページで確認してください。

◆注意報発令時の注意点

- ・屋外になるべく出ない
- ・激しい運動をさける
- ・自動車をなるべく使用しない

◆光化学スモッグの主な症状

- ・目がチカチカする
- ・のどがいがらつぽい

◆症状が出たときは

- ・うがいや洗眼をする
- ・室内の涼しいところで安静にする

・症状が良くならないとき(呼吸困難や手足のしびれなど)は病院で診察を受けてください

放射線量率の測定結果

市では、毎月小・中学校や市立保育園など26カ所で、空間放射線量率の測定を行っています。24年5月の測定結果は、いずれの場所での測定値も国際放射線防護委員会が示す、公衆被ばくの年間限度1ミリシーベルト以下(自然放射線を除く)を、**すべて下回る結果**となりました。

この他、公立保育園および市立小学校の給食について放射性物質の検査を実施しており、結果については市ホームページで公開しています。空間放射線量測定に関する相談や要望は、環境みどり課までご連絡ください。

